



ロシア学科 准教授  
齋須直人先生

- Q1 本学に着任される前にやってこられたことは？専門分野は？**  
名古屋外国語大学の世界教養学科というところで、ロシア語を教えたり、専門に関する講義をしたり、ゼミをやっていました。専門は、ロシア文学、ロシア思想史です。
- Q2 本学でやりたいことは何ですか？**  
学生さんに、ロシアやユーラシアの文学や芸術に興味を持ってもらえるよう、授業準備を頑張りたいです。
- Q3 大学時代はどのような学生でしたか？**  
山登りのサークルで山登りをしていたので、山に行くか、サークルの部室や友人の家で毎日のように朝まで飲んでいました。
- Q4 趣味・特技は何ですか？**  
特技は、菓子を空中に放り投げて、口でキャッチすることです。子供の頃、節分の豆撒きの度に練習していたら上達しました。

**Q5 休日はどのように過ごしていますか？**  
時間に余裕があれば、旅行をしています。去年はウズベキスタンに行きました。ロシアに住んでいたときは、ロシアの様々な町を旅行しました。

**Q6 尊敬する人は誰ですか？** 普段関わっている人のほとんどを尊敬しています。

**Q7 座右の銘は何ですか？** 悪あがき。

**Q8 本学の学生へメッセージをお願いします！** よければ授業を受けにきてください。



国際関係学科 准教授  
今井紀夫先生

- Q1 本学に着任される前にやってこられたことは？専門分野は？**  
直近は大阪の大学で教員をしていました。その前はDellやGoogleなどの企業で20年ほどデジタルマーケティングやデジタルビジネスに携わっており、それが現在の研究での専門分野でもあります。
- Q2 本学でやりたいことは何ですか？**  
国際的に活躍できるデジタルビジネス人材の育成です。インターネットやAIなどデジタル技術の活用には、技術者だけでなくビジネス面での人材も必要です。IMDによるデジタル競争力ランキング2025では日本は69カ国・地域中30位、中でも人材面での国際経験の評価は最下位となっています。国際経験が重要であるということは、本学の学生にとっての機会であることから、国際的に活躍できるデジタルビジネス人材の育成に取り組んでいきます。
- Q3 大学時代はどのような学生でしたか？**  
本学ではありませんが同じ外国語学部で英語を学びつつ、自動車レースのF-1観戦に熱中していました。アルバイト代を貯金して、毎年夏にヨーロッパでのレース観戦や日本でのレース時にはチームの手伝いをするなどの経験から、「プロフェッショナルとは何か」など、将来に影響を与える多くの学びを得ることができました。

**Q4 趣味・特技は何ですか？**  
趣味は旅行とスポーツです。旅行ではこれまで50カ国以上を訪問し、英語を学んでよかったと実感することの一つです。スポーツは観戦も体を動かすことも好きで、この数年のうちに、ワインで有名なフランスのメドックマラソン（＝給水ならぬ、給ワインがあるそうです）への参加を目標にしています。

**Q5 休日はどのように過ごしていますか？**  
Q4の回答と重なりますが、長い休みのときは、旅行に行くことが多いです。週末は、スポーツクラブでの運動やサウナでリフレッシュしています。それから愛犬バロン（シーズー・2歳）と、平日以上に一緒に過ごして、癒やされています。

**Q6 尊敬する人は誰ですか？**  
尊敬する人は数多くいらっしゃるのですが、共通点としては何かにひたむきに打ち込まれている人です。

**Q7 座右の銘は何ですか？**  
「意志あるところに道は開ける」です。与えられた環境の中でも自分の意志と行動で変えられることは、想像以上に多くあります。その一歩が、新しい道につながります。

**Q8 本学の学生へメッセージをお願いします！**  
“home（＝いつもの場所）”から一歩踏み出し、あえて“away（＝普段選ばない授業や活動、未知の世界など）”にチャレンジしてみてください。そこで味わう“comfortably uncomfortable（＝少しの不安や違和感を覚える、成長に必要な負荷がかかった状況）”な挑戦には、時に失敗や挫折も伴うでしょう。だからこそ、その経験が皆さんの限界を広げ、物事を多面的に捉える力や、新しい世界に踏み出す自信を育てていきます。